

北海道浮魚ニュース

平成 13 (2001) 年度 4 号 (通巻 No.97)

2001 年 6 月 25 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

道東太平洋スルメイカ北上期調査結果

北辰丸 (釧路水産試験場調査船) により行われたスルメイカ調査結果をお知らせします。

調査期間 : 2001 年 6 月 11 日 ~ 21 日

調査海域 : 道東太平洋 [北緯 41 度 ~ 41 度 40 分、東経 143 度 ~ 146 度]

● 道東沖スルメイカの分布は低密度

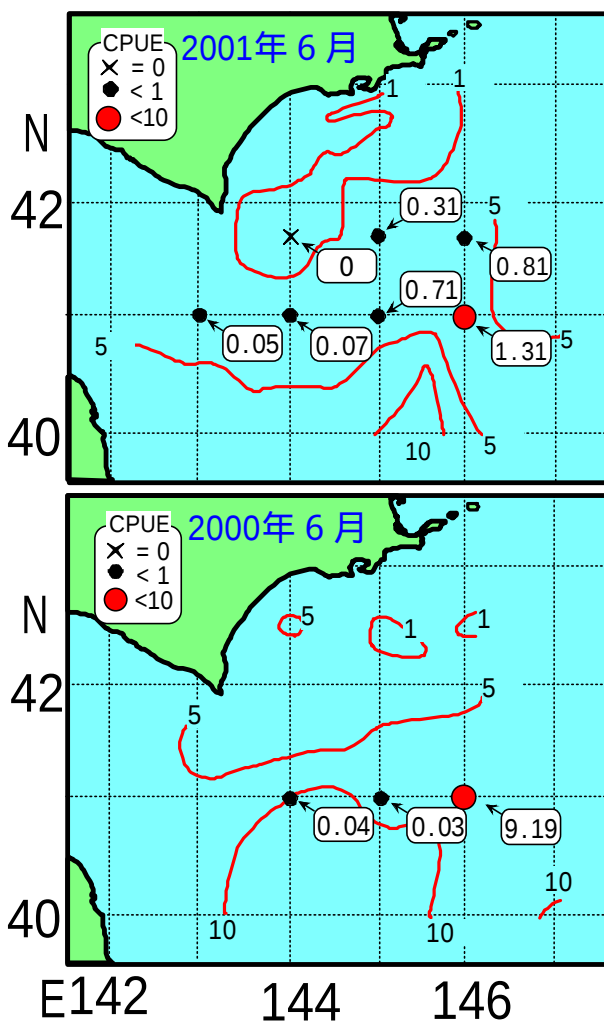


図 1 スルメイカ漁獲結果と 50m 水温

水温は北辰丸による海洋観測結果より

上段 : 2001 年

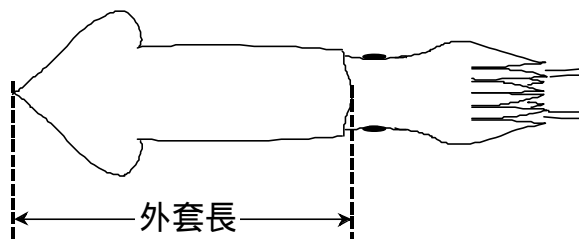
下段 : 2000 年

水深 50m では、1 以下の水温が道東沿岸に広く分布し (図 1 上)、5 の等温線も昨年より南にありました。昨年よりも全体に水温が低くなっています。

7 調査点で、スルメイカの平均 CPUE* は 0.47 (昨年 : 3.47) でした (図 1)。最も高い CPUE は 1.31 で、昨年の 9.19 を大きく下回っています。スルメイカ以外では、ツメイカが平均 CPUE 2.98 でした (昨年 0.13)。

* CPUE : イカ釣り機 1 台で 1 時間に漁獲するイカの尾数。この数字が大きいほどイカが多く分布している

漁獲したスルメイカの外套長範囲は 14～25cm（モード* 17cm）でした（図2）。昨年とモードは同じですが、昨年には獲れなかった、20cm を超えるスルメイカも漁獲されました。また、5～6cm の幼イカも西側の2調査点で確認されました。



* 外套長：イカの胴体部の長さ。

* モード：最も多く漁獲されたイカの外套長。

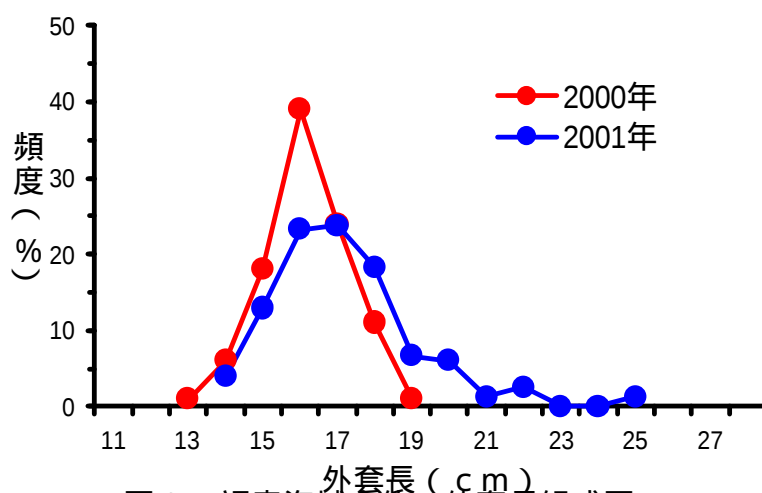


図2 調査海域全体の外套長組成図

表1 道東太平洋スルメイカ北上期調査結果（1993～2001年）

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長 範囲(cm)	外套長 モード* (cm)	調査点数
1993年 6月14日～30日	259	0.43	13-18	17	11
1994年 6月13日～23日	1,584	5.14	11-25	19	10
1995年 6月14日～23日	23	0.06	14-19	17	8
1996年 6月12日～21日	3,741	9.91	13-21	18	9
1997年 6月11日～18日	55	0.17	13-17	15	7
1998年 6月09日～18日	69	0.18	10-17	13	8
1999年 6月10日～17日	243	0.75	11-23	17	7
2000年 6月12日～15日	333	3.47	13-19	16	3
2001年 6月11日～21日	110	0.47	14-25	17	7

北辰丸の調査結果では、スルメイカの分布密度は低くなっていますが、水温が低く道東への来遊が遅れている可能性もあります。今年の道東への来遊量については、釧路水試の調査結果や他機関の調査結果から、7月26日に平成13年度第1回太平洋イカ長期漁海況予報として発表されます。

（文責：釧路水産試験場資源管理部
直通電話 0154-23-6222）